

琉球大学学術リポジトリ

資料等

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41188

編集後記

西本裕輝（大学教育センター）

2014年度はURGCCを導入してから3年目にあたる。よって本報では、特にURGCCの現状として二つの調査結果に比重をおいた。「URGCC学生調査2014の概況」「平成26年度『学生による授業評価アンケート』の概況」である。

まず学生調査についてであるが、これはこれまでの3年間、学生を追跡調査し、URGCCで掲げている7つの目標をどの程度達成しているかについて把握してきたものである。今回の報告では、1年次から3年次にかけて達成度が上昇していることを確認する結果を示すことができた。4年次の結果は次回報告することになるが、今後の上昇を期待できる結果を得ることができたことは大きな成果であったと言える。

また、授業評価の項目も2014年度からURGCCに対応したものに変更した。各授業において、7つの目標がそれぞれどの程度達成されたかを確認するためである。よってその結果を一度示しておく必要があり、本センター報で分析結果を報告した。分析では各科目群ごとに濃淡はあるものの、おおむね7つの目標が達成されている結果を導くことができた。

2015年度は導入4年目となり、初めて卒業生を送り出す年となる。本センター報はその形成的評価として重要な役割を果たすことになるだろう。今後の教育改善の礎となることを願っている。